

『コード・リーディング ― オープンソースから学ぶソフトウェア開発技法』を読みながらメモ

出版当時から気になっていたのに、実際手に取って読み始めたのは今日 (2009 年 3 月 23 日)。ぜひ読みたいと思ったのが、いまだったのよ。

で、読み始めてみたんですが.....おもしろー！！

読みながら、「これは覚えておこ」と思ったことを、ここにメモっていきます。

なんというか、この本の本質に関することというよりは、Tip みたいなもののメモになると思います。このメモみて、「こいつ、この本のどこ読んでるんだ？」とか思わないでね（はあと）。

2009-03-23

echo の -n オプション

いままで、知りませんでした。しゃあないから printf つかってみたり（我ながらあほ）。

イディオム (p.23): STREQ

```
#define STREQ(a, b) (*(a) == *(b) && strcmp((a), (b)) == 0)
```

練習問題 2.3 もみよ。

標準出力におけるエラーのチェック p.25 あたり

これは、ほんとに気にしたことがなかった（反省）。

いちいちチェックしないのなら、最後にエラーがなかったかどうかチェックせよと。ferror 関数など。